



岐阜県鋳工業指数(平成23年9月分)

生産指数 前月比 0.8%の上昇

1 概況

平成23年9月の県内鋳工業の動向を季節調整済指数で見ると、輸送機械工業、その他工業等が低下したものの、一般機械工業、化学工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は0.8%増と前月に引き続き上昇した。また、出荷指数は0.5%増と3カ月ぶりに上昇し、在庫指数は横ばいであった。

なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は4.5%増となり、5カ月連続で前年を上回った。

(平成17年 = 100)

区 分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	95.0	0.8	98.4	4.5
出荷	94.3	0.5	97.6	2.2
在庫	113.0	0.0	112.3	2.6

鋳工業指数(生産)推移 (平成17年 = 100)



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、ボルトナット、作業工具等が減少したものの、超硬チップ、軽金属板製品（産業用品）等が増加したため、4.4%増と4カ月連続で上昇した。また、出荷は0.3%増と4カ月連続で上昇し、在庫は1.2%減と前月に引き続き低下した。

機械工業の生産は、単相誘導電動機、乗用車ボデー等が減少したものの、金型、研削盤等が増加したため、1.5%増と前月に引き続き上昇した。また、出荷は1.2%増と3カ月ぶりに上昇し、在庫は1.7%増と3カ月連続で上昇した。

窯業・土石製品工業の生産は、触媒担体・セラミックフィルタ、研削砥石等が増加したものの、生コンクリート、タイル（陶磁器製タイル）等が減少したため、2.5%減と低下に転じた。また、出荷は5.0%減と低下に転じ、在庫は0.6%減と前月に引き続き低下した。

化学工業の生産は、医薬品、触媒（自動車排気ガス浄化用）等が増加したため、8.0%増と3カ月ぶりに上昇した。また、出荷は2.4%増と3カ月ぶりに上昇し、在庫は0.6%減と3カ月連続で低下した。

プラスチック製品工業の生産は、プラスチック製容器、パイプ等が増加したものの、プラスチック製フィルム、プラスチック製機械器具部品等が減少したため、3.6%減と低下に転じた。また、出荷は5.4%減と低下に転じ、在庫は3.5%増と前月に引き続き上昇した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)
金属製品工業	92.9	4.4	2.0	89.1	0.3	5.9	73.3	1.2	28.6
機械工業	99.1	1.5	13.3	98.7	1.2	6.8	145.7	1.7	13.7
一般機械工業	101.2	12.3	38.4	127.2	14.9	40.0	-	-	-
電子部品・デバイス工業	75.1	10.4	14.7	76.8	10.5	14.6	-	-	-
輸送機械工業	109.7	9.6	5.0	100.4	10.3	1.7	-	-	-
窯業・土石製品工業	78.6	2.5	3.7	74.4	5.0	1.1	83.1	0.6	4.6
化学工業	109.7	8.0	8.5	105.9	2.4	9.0	94.6	0.6	4.2
プラスチック製品工業	97.6	3.6	3.1	100.3	5.4	1.6	100.6	3.5	23.7

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

